

ブリーフセラピー

1967年にメンタル・リサーチ・インスティテュート内に、ブリーフセラピー・センターが設置された。その後、1980年代に、ソリューション・フォーカスト・ブリーフセラピー（SFBT）が、1990年頃にはナラティブ・セラピーが展開した。

私たちは、2011年、東日本大震災を経験し、被災した仙台市で活動した消防団、石巻市役所の職員、海上保安庁第二管区（東北）の職員、海上保安庁潜水士などのカウンセリングを行った。その際、サイコロジカル・ファースト・エイド、IASCガイドライン（自然災害時における人々の保護に関する活動ガイドライン）などを取り入れながら、悲嘆及びトラウマ反応へのブリーフセラピーとして形を整えた。それがスリー・ステップス・モデルである。

上述の経緯により形を成したこのモデルは、現在、悲嘆やトラウマだけでなく、それ以外に広く適用できるモデルとして修正が行われている。その修正は、井上円了や森田正馬という先人たちが私たちに残した遺産であり、現在の心理療法やカウンセリングが見落としてきた自然回復を大切にしたものになっている。

スリー・ステップス・モデルは、自然な回復を大切にしたブリーフセラピーである。これはシステム理論に基づくセラピーをより実践的に理解することにも通じるものである。

本研修では、この改定されたスリー・ステップス・モデルを解説し、実習しながら、セラピスト（カウンセラー）、クライアント、クライアント家族にも、お互いに負担の少ないセラピー（カウンセリング）のあり方を考えていきたい。

記

講師：若島孔文（東北大学大学院教育学研究科）
狐塚貴博（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）

日時：【A. ライブ配信＋録画視聴】2025年1月26日（日）10:00～16:00（昼食休憩1時間程度）
【B.録画視聴のみ】2025年2月12日（水）15:00～2025年3月18日（火）15:00

定員：【A. ライブ配信＋録画視聴】100名
【B.録画視聴のみ】は人数制限無し

内容：：(1) ブリーフセラピーの基本 - 問題解決モデルと解決志向モデルについて
(2) スリー・ステップス・モデルの解説 自然な回復に目を向けるために必要なこと
(3) スリー・ステップス・モデルの実習 負担の少ないサポートについて考える

申込期間：

【A. ライブ配信＋録画視聴】2024年11月26日（火）0:00～2025年1月20日（月）23:55 締め切り
【B.録画視聴のみ】 2024年11月26日（火）0:00～2025年2月11日（火）23:55 締め切り

参加区分と参加費：【A. ライブ配信＋録画視聴】と【B.録画視聴のみ】は同一料金です。

- ①日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ②学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③一般参加者：10,000円

研修ポイント

- * 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- * 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- * 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。